

2011.02.21

## 女子足に注目 北欧ダンス天国


 担当：  
Rica

—アイルランド遠征編—

スウェーデンの冬の風物詩「ダンス」。一年の半分が冬ということもあり、室内で楽しめる娯楽に注目が集まります。毎年、年末から『let's dance』というテレビ番組（選ばれた何人かの著名人がプロのダンサーと組み、勝ち抜き戦で社交ダンスを競う番組）が始まり、この時期「ダンスに恋する初心者」が急増します。

ダンスと言っても、サルサ、リンディー、社交ダンス、アルゼンチンタンゴとペアーで踊るダンスが主流。サルサは大学生などの若い人たちに人気ですが、その他のダンスは中高年のダンスフリークの登龍門的存在です。

今回は、私もはまっているアルゼンチンタンゴのお話。ストックホルムでは毎日何処かでタンゴが踊れます。週末は必ずと言って良いほど『Milonga(ミロンガ)-ダンスパーティー』が行なわれます。クラシカルな元シアターを借り切ったり、モダンなカルチャーセンターで開催されたり...と会場は様々。それぞれの場所には必ずバーも隣接していますので、ワインを飲みながらダンスを楽しむのがアルゼンチンタンゴの醍醐味です。

アルゼンチンタンゴの魅力は様々ですが、タンゴフリークが必ず語るのが「気持ち」です。音楽を感じて相手との共有する時間と呼吸から踊りをクリエイトすることが出来るので、その瞬間だけ恋に落ちることもしばしば。これぞタンゴマジックですね。

もうひとつの魅力は、音楽とファッション。アルゼンチンタンゴの音楽は1920-30年代のカルロス ガルデルなどのクラシカルなものからアストル ピアソラなどクラシカルなタンゴを新しいタンゴに蘇らせた気鋭の音楽家、現代グループのゴタンプロジェクトなど様々です。

そして、なんと言ってもファッション！ 女性の靴に注目が集まります。タンゴを踊る女性の憧れアルゼンチンブランドのComme il faut(コム・イル・フォー)の靴。9cmのピンヒール、そしてマリリンモンローが履いて出て来そうなグリッターでキラキラさせたショウガールを彷彿とさせる美しいサンダル靴。今ではダンスを踊らない女性の間でも注目のブランドとなりつつあります。そして、それぞれのミロンガではここぞとばかりに美しいタンゴシューズを履きこなす女性陣。照明の落ちたタンゴフロアで足もとが光り輝きます。私もこの靴に恋をした一人です。



左&右/靴1万9800円(コムイルフォー、オランダ店 <https://www.lisadore.com/>)バッグ2万1945円(ローゼンクローナ)

アルゼンチンタンゴは、スウェーデンだけでなくヨーロッパ各地でも浸透しており、旅行がてら他の国にタンゴを踊りに行くことも少なくありません。スウェーデンの夏休みは5週間ありますので、実際夏休みを利用してはるばる国外遠征するタンゴファンも多く見受けられます。



今年1月21日から23日の週末に行われたアイルランドのタンゴフェスティバルもそのひとつです。私だけではなく、他の国のタンゴに興味を持つスウェーデン人も数多く参加しました。

アイルランドのタンゴ会場は、大きく分けて首都のDublin(ダブリン)、Galway(ゴールウェー)、Cork(コーク)、Limerick(リメリック)とそれぞれの大きな町に存在しています。去年初めてコークでアイルランド全域のタンゴフェスティバルが3月第2週の週末3日間行なわれました。お城の天文台が会場になったり...と、タンゴ会場もユニークです。

今回合流したスウェーデンからの参加者のポールさん曰く、「アイルランドの選曲が面白い、最初にオスヴァルド プグリエーゼのような難しい曲を持って来て中盤戦から踊りやすいクラシックタンゴを持って来る。普通反対だよねえ!」。まさに、前半は通常ウォーミングアップもかねて踊りやすい曲を持って来るのですが、アイルランドは反対。曲順にも国の個性があらわれます。

タンゴフェスティバル中は、夜のミロンガを楽しむだけでなく、昼間それぞれの町のタンゴの先生達がレッスンを行ないます。ひとつのクラスは10カップルと程よい人数のクラスがほとんどです。初めての場所ではなかなか知り合いも出来ないため、このようなレッスンを2、3回受けることにより、他国の人々との交流の機会となり、夜のミロンガでお誘いを受けやすくなるというメリットもあります。私たちは前回レッスンを取ったので、今回はゴールウェー近郊の観光に時間を割くことにしました。



(写真上左から)1.アイルリッシュミュージックの古里Doolinドゥーリン。2.ゴールウェーのタンゴフェスティバルでのアルゼンチンからのダンサー。3.アルゼンチンタンゴミュージックの第一人者Carlos Gardel。4.ゴールウェーの町から北西に車で40分のノスタルジックな海岸。5.ゴールウェータンゴフェスティバルの最終日会場のバー。6.タンゴフェスティバルに訪れていたアルゼンチンダンサー。

夜のミロンガでは、通常ワイン片手にミロンゲー口達の踊りを楽しんでいます。こちらはアイルランド。さすがにギネスビール人口が多く、私もこのときはギネスでタンゴを楽しみました。そしてまた、皆さんとの再会を約束したのでした。

スウェーデンのタンゴに興味のある方はこちらをご覧ください。

<http://www.tangonorte.com/>

スウェーデンで一番質の良い初心者クラスを持っている『クラブタンゴ』。

週末2回のコースでダンス経験のある方は踊れるようになります。

<http://www.clubtango.se/>

アイルランドタンゴ情報

<http://corktangofestival.com/>

<http://www.caminosdetango.com/>

<http://www.dublintango.com/events/DublinTangoEventsGuide.html>



### WRITER PROFILE

Rica

ファッションデザイナー。ジュニアシダのデザイナーを経て代官山でオートクチュールのドレスサロン経営。のちにマルタ共和国→シシリア島...と北へ北へと移り住み、現在スウェーデン在住。2009年夏より、オリジナルブランド『Rosenkrona』を立ち上げ、北欧と日本で活動中 ([www.rosenkrona.com](http://www.rosenkrona.com))。各国の手芸、アンティーク、アルゼンチンタンゴ、ワイン&食、秘境の町&村めぐりなど興味は広範囲。